

澄んだ瞳

第72号
令和3年12月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

じんけんぶんか

人権文化をすすめよう！

じんけんしゅうかん

人権週間

12月
4日から
10日

「人権文化」とは

じんけんぶんか

にぎじょうせいかつ

なか

たが

じんけん

そんちよう

日常生活の中で、お互いの人権を尊重

すること、自然に感じたり、考えたり、

しぜん

かん

かんが

行動することが「当たり前」になった生活

あ

まえ

せいかつ

をいいます。

「あらがひのつがみ」

わたしのきんじょには、いろいろなおやさいやくだものをもってきてくれるひとがたくさんいます。おかあさんが、「ごはんのときにだれにもらったおやさいかをおしえてくれます。それで、きんじょのひとたちにあらがとうがいいくて、みんなにおてがみをかきました。きんじょのひとたちはみんな

「ありがとう。」

といってくれました。よろこんでもらえてうれしかったです。

これからもきんじょのひとたちとなかよくしたいとおもいました。

(小学1年生)
しょうがく ねんせい



「うなづいてくはう」

がつこうで、「かんこく」というがいこくのはなしをききました。

おなじクラスのとちだちのおかあさんがはなしをしてくれました。かんこくのぶくをみせてくれました。

ぼくのみたことがないぶくで、すてきでし

た。

「トッポギ」というりょうりのしゃしんもみました。

いえにかえて、おかあさんにおしえてあげました。するとおかあさんは「こんど、つくってみようか。」とやくそくしてくれました。

ぼくのしらないことがいっぱいでしたが、いろいろなことをしることができて、たのしかったです。

これからも、がいこくのことをも

っとしりたいです。そして、た

くさんのひととなかよくしていききたいです。



(小学1年生)
しょうがく ねんせい

「ハッピーかいぎ」

わたしがうれしかったことは、ハッピーかいぎのとき、みんながゆずりあったり、みんながハッピーになれることをかんがえたりできたことです。2ねんせいのしかいも、とってもじょうずでした。

つぎはわたしも2ねんせいみたいに、しかいをしてみたいです。

みんながもっともっとハッピーになれるようにがんばります。



(小学1年生)

「やさしい友だち」

きょう食をはいぶときに友だちが

「はいぶの手つだおうか。」

と、言ってくれました。わたしは

「ありがとう。」
と、言いました。

わたしの心はあたたかくなりました。やさしくていい友だちだなと思いました。

つぎは、わたしが手つだおうと思います。

学校にはやさしい友だちがいっぱいいます。

(小学2年生)

「うれしい気持ち」

わたしは公園で小さな子に、遊具をかけたことがあります。

わたしがあそんでいたときに、ちかくでもじもじしている女の子に気付いて

「どうぞ。」

と言いました。すると、女の子のお母さんが

「ありがとうって言おうね。」

と小さな声で言っているのが聞こえました。

女の子ははにかしいのか、お母さんにく

っついていましたが、小

さな声で、

「あーと。」

と言いました。わたしは

うれしい気持ちになりました。

その後わたしは

友だちと、ちがう遊具で



あそびました。

(小学3年生)

「自分を表す」

ぼくは習い事の野球で、よく別の小学校の運動場で練習をします。その小学校の校門を通ると必ず見えてくるのが「あいさつは 自分を表す バロメーター」という言葉です。通るときに見るこ

の言葉が、「元氣よくハキハ

キとしたあいさつをしよ

う!」というあいさつスィツ

チになっています。これから

もだれかと出会ったときには

自分からあいさつができる人

でいたいと思います。



(小学6年生)

「体育祭を終えて」

僕が体育祭の競技の中で特に印象に残っているものは、綱引きです。



初めて綱引きに出場するメンバーで実践的な練習をしたときは、赤組に完敗を喫し、全く全員の力が合わないような状態でした。そんな中でも幾つかの反省点を一つ一つ克服していくとともに、だんだんと赤組とも互角に競い合えるようになって、チーム全体として成長することができました。そして本番でも、勝負には惜しくも敗れてしまったものの全員の最後の最後まで全く諦めず、素晴らしい戦いを繰り上げることができたと実感しています。綱引き以外の競技でも、来場の方たちの拍手と温かい声援のおかげで、練習のときの二倍も三倍も元気で、はつらつとしたプレーができたことを嬉しく思います。

また、練習初日から本番まで三年生が、最上級生としての自覚をもち、下級生を精一杯引っ張る姿がとてもかっこいいと思いました。下級生からの質問や意見にもしっかりと受け答えし、先生方から出された指示

にも、またたくまに全校生徒に伝達する姿は今も頭から離れません。

僕も今の三年生のように、どんなことにも臨機応変に対応できるようになりたいと強く思いました。

(中学2年生)

「校内生活体験発表会を聞いて」

校内生活体験発表会で発表者の話を聞いて、私と同じような体験をしている人がたくさんいるんだと思いました。

私は中学生のとき、ほとんど学校に行っていないせんでした。人の目を見て話すことも苦手で、親に注意されても、冷たい態度をとっていました。

みんなの話を聞きながら、過去のことを後悔していました。それは、



私が中学生のときに何度もあと一歩を踏み出せなかったことです。何度か友人との会話に入るチャンスを与えられていたのに、参加することができず黙っていました。そして、そのまま高校生になってしまいました。

あのとき、勇気を出して一歩踏み出したら、友人との関係も変わり、不登校にならなかったかもしれないし、今よりもっとしっかりした人になれていたかもしれないと思います。後悔しています。

これからは与えられたチャンスを逃さずに、一歩踏み出すようにしたいと思います。

(高校1年生)

「子どもの虐待を防ぐために」

最近、子どもの虐待に関するニュースが頻繁に報道される。私はそれを見るたびに、いたたまれない気持ちになるのだが、暴力をふるってしまう母親の気持ちもわかる気がした。

わたしは小学五年生のときに妹が産まれた。母は出産から三か月程すると仕事に復帰したため、私一人で妹の面倒をみることが多くなった。母が仕事のため家を出ると、妹は何かを察知したように泣き始めた。そこからは、私は妹を抱っこして泣き止んだら下ろすの繰り返しだ。苛立ちが募って逃げ出したくなることもあったが、私は妹に手をあげたことは一度もない。なぜなら、私は姉妹という立場なので、いざとなれば助けてくれる存在がたくさんいたからだ。

私は、虐待という悲劇を繰り返さないためには、みんなで育児をすることが大切だと考える。私も将来、親になるときがくれば、誰かの手を借りながら、一杯の愛情を注いであげたいと思う。



(高校3年生)

人権週間

人権週間



12月4日(土)～10日(金)

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」

(Human Rights Day)」と決めました。

法務省及び全国人権擁護委員連合会は、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚に努めています。

令和3年12月4日から10日までの

週間

PTCA活動実践発表会

・人権ふれ愛シネマ

作品名 「家族の日」

あらすじ

いじめに関する問題を抱え、東京の新宿から岡山県高梁市へと引っ越した一家が、考えていた田舎暮らしと実際の生活とのギャップに戸惑いながらも、そこで出会った人々との交流の中で、家族の絆を見つめ直すきっかけを手に入れる物語です。

日時 12月5日(日) 13時～14時

会場 相生市文化会館扶桑電通

なぎさホール 大ホール

※入場無料

※令和3年度人権ポスター

特選作品を会場入口に

展示します。

